

御岳田遺跡(第10次)

御岳田遺跡はJR竜王駅から北へ約1.5kmの甲斐市大下条地区の住宅街に立地し、標高288mに位置しています。

今回の発掘調査では、調査の成果としては弥生時代の^{たてあな}竪穴建物跡^{たてもものあと}1軒、古墳時代の^{たてあな}竪穴建物跡3軒、^{しゅうこうぼ}周溝墓5基、平安時代の^{たてあな}竪穴建物跡14軒、中世の^{どこうぼ}土壙墓1基をはじめとして、^{じょういこう}溝状遺構8条、^{たてあなじょういこう}竪穴状遺構3基などが発見されました。詳細な年代は、次年度の整理分析作業まで検討中です。

今回の発掘調査は、限られた調査範囲でありましたが、今次の調査区で人が生活するようになるのは弥生時代後期(1号竪穴建物跡)から始まり、古墳時代前期になると周溝墓を造り、古墳時代後期には建物が造られ、平安時代になると古墳時代に造った周溝墓の一部を壊して、建物を造り生活を営む様相が見られました。(甲斐市教育委員会)